総合特別区域の進捗に係る評価［グリーン・イノベーション分野］

平成30年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区

［指定：平成23年12月、認定：平成24年３月］

Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価

ｉ）＋ⅱ）の平均値　(4.6+4.2)/2=4.4　**4.4**

ｉ）取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度（当年度実績）

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	108%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMS を活用した環境配慮型都市の確立	257%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	91%	4
5	虚弱予防活動の展開	89%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値　（5×3＋4×2＋3×0＋2×0＋1×0）／5＝4.6　**4.6**

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
（例）評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa：5・20%、b：4・10%、c：3・70%の場合、5×0.2＋4×0.1＋3×0.7＝3.5で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ⅱ）取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値　**4.2**

Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

ｉ）、ⅱ）、ⅲ）の平均値　(4+3.3+3.3)/3=3.5　**3.5**

ｉ）規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値　**4.0**

ⅱ）財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値　**3.3**

ⅲ）地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値　**3.3**

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

（専門家所見（主なもの））

4.0

・数値目標の多くを達成しており、公民学連携による自立した都市経営が順調に進捗している。

・2018年夏の猛暑にもかかわらず、CO2排出量削減量が当初目標を上回って推移していることは高く評価できるが、その要因の分析を行うことが、他地区へ波及させていくためには重要と考えられる。また、実証実験後も家庭でのHEMSの運用が継続されることを期待する。これらの点も踏まえ、グリーンイノベーション分野としての取組全体が把握できるように複数の評価指標の設定が望まれる。

・地域の健康・介護分野での公民学連携ニーズを明確にし、顔のみえる関係づくりをもとに、事業所の具体的なヘルスケア・介護サービス事業を支える公民学連携を着実に構築していく実践的な取り組みが期待される。

・ 財政的措置、税制支援等、低炭素コンパクトシティ、AEMS等の具体的な取り組みを期待したい。

専門家による評価（専門家の総合的な所見）の平均値　4.0

総合評価

Ⅰ、Ⅱ及びⅢを1：1：2の比率で計算 (4.4+3.5+4×2)／4=4

4.0

（注）評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。
・評価は5～1（評点）で行う。
・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
・進捗度以外の評価項目における評点は、5：著しく優れている、4：十分に優れている、3：適当である、2：適当であると認めるには不十分である、1：適当であると認められないとする。